

# 「人種差別撤廃 NGO ネットワーク」立ち上げ記念集会

## 「周縁化」「不可視化」を乗り越えて

日本における人種主義・人種差別の撤廃に向けて

日時 2007年2月27日(火) 18:30~20:30

場所 (財)松本治一郎記念会館 3F (東京都港区六本木 3-5-11)

地下鉄日比谷線(出口3)、大江戸線・六本木(出口5)(徒歩7分)

出口3から出た場合、六本木交差点を右に曲がり、外苑東通りを東京タワーに向かってまっすぐ歩く(出口5から出た場合は交差点を左へ)。交差点から3つめの信号を左折300mほど先の左手に松本治一郎記念会館がある。

地下鉄南北線・六本木一丁目(徒歩5分)

出口2を地上に出たら高架の高速道路に沿って、左手へ、横断歩道を高架下の右にわたる。ガソリンスタンドがある角を右折。まっすぐ行くと松本治一郎記念会館に突き当たる。



参加・資料代 1,000円(学生500円)

「人種差別撤廃 NGO ネットワーク」は、日本のマイノリティ当事者団体・個人を中心とし、人種主義・人種差別・植民地主義の撤廃に取り組む団体・個人の参加も得て形成されている恒常的なネットワークです。日本政府を含むあらゆる主体が「見えなくされてきた人びと」「存在をきちんと知らされてこなかった人びと」が確かに存在することを認識し、それらの人びとが直面する差別の実態と、その背景にある社会、経済、政治的構造ならびに歴史や固有の文化について理解を深め、適切な方策を講じることなしに、多文化共生社会の構築は不可能である、という共通認識に立っています。恒常的かつタイムリーな情報共有に基づいた共同行動の基盤として、人種差別撤廃条約とディエン報告書の国内実施を促進する力となることを目指しています。

2006年7月28日に発足し、これまでに78団体18個人の参加を得て、日本における人種主義・人種差別の撤廃にむけた活動を行ってきました。

このたび、現代的形態の人種主義、人種差別、外国人嫌悪および関連する不寛容に関する国連特別報告者であるドゥドゥ・ディエンさんの参加も得て、同ネットワークの立ち上げ記念集会を開催します。ぜひご参加ください。

ディエン報告書は、国連人権委員会が任命した「現代的形態の人種主義、人種差別、外国人嫌悪および関連する不寛容に関する特別報告者」であるドゥドゥ・ディエンさんによる、初の日本公式訪問(2005年7月)を受けて2006年1月に公表されました。「日本には人種差別と外国人嫌悪が確かに存在する」と明言し、その影響を受けている主な集団として、被差別部落の人びと、アイヌ民族、沖縄の人びと、在日コリアンなど旧植民地出身者とその子孫、移住労働者・外国人を取り上げ、24項目の勧告を提示しています。

### プログラム(予定)

1. はじめに 人種差別撤廃 NGO ネットワークの立ち上げについて
2. 特別講演: ドゥドゥ・ディエンさん(人種主義等に関する国連特別報告者)  
「現代世界と日本における人種主義・人種差別の撤廃に向けて」
3. 日本における人種主義・人種差別撤廃にむけて  
各マイノリティ当事者からの発言
4. ディエン報告書に関する NGO コメント文書の発表
5. 人種差別撤廃 NGO ネットワーク・今後の活動予定

お問合せ: 反差別国際運動日本委員会(IMADR-JC)

反差別国際運動日本委員会(IMADR-JC) 〒106-0032 東京都港区六本木 3-5-11

TEL: 03-3568-7709 FAX: 03-3586-7448 E-mail: imadrjc@imadr.org / URL: <http://www.imadr.org>